



12月6日 塩竈市立第一中学校(3年1組)で収録

特集：新春対談会

しおがま文化大使

山寺 宏一



塩竈市長

佐藤 昭

本市出身で声優の山寺宏一さんをお招きし、母校、第一中学校を会場に、ご自身の活動や「ふるさと塩竈」への思い・魅力、今後の抱負などを熱く語っていただきました。

平成27年を振り返って

市長 平成28年申年のスタートです。今年の新春対談は、本市ゆかりの方で「今一番元気に活躍されている方」ということで、「しおがま文化大使」山寺宏一さんをお招きすることになりました。

山寺 まだまだ力不足ではありますが、いろいろお話できればと思います。

市長 昨年山寺さんにはさまざまな形で被災地塩竈を訪問いただきましたが、山寺さんにとって昨年はどんな年でしたか？

山寺 そうですね。「しおがま文化大使」として、もっと塩竈の力になれば良かったのですが、「みやぎびっきの会」の一員として、宮城・東北3県の支援活動を行ってきました。塩竈に対して「こんなことをやってきました」と胸を張って言うことはないので、地道に自分のできる範囲でやってきました。

市長 昨年2月には山寺さんをゲストに迎えて、ラジオの公開収録が遊ホールで行われました。山寺さんが中学時代の思い出や塩竈に対する思いなどを話されて、客席にいる私たちも本当にうれしかったです。

山寺 生まれたのは塩竈で、その後多賀城、利府と引っ越しましたが、塩竈市立第一中学校に通っていました。引っ越し後も生活環境は塩竈が

中心だったので、地元で公開収録ができたことはうれしかったです。

会場となった遊ホールでは、そのほかにも出演させていただいたことがあります。

市長 そうですね。「塩竈夢ミュージカル」にもご支援いただいていますね。

山寺 ミュージカル出演者による「夏のコンサート」には出演させていただきました。特に「塩竈夢ミュージカル」は地元の方が手作りです。頑張っているミュージカルですから、微力ながら応援させていただいています。

私も舞台上立つ人間として、舞台作りの大変さも分かっているつもりです。一般の人が出演すること、それをまとめて作り上げていくことは大変です。本当に頑張っていると思



▲「塩竈夢ミュージカル」2月の公演に向け猛練習中

います。もちろん、今年の公演も楽しみにしています。

市長 山寺さんは、昨年「2014年度日本映画批評家大賞」アニメーション部門の声優賞を受賞されました。おめでとうございます。

山寺 ありがとうございます。それまで声優賞というのがなく、昨年が第一回でした。批評家のプロの方々から評価していただいたことはうれしく思っています。

市長 山寺さんが受賞されたことは、私たち市民への激励にもなります。

山寺 そう思っていただけとありがたいです。皆さんに喜んでいただけたために、今の仕事を充実させなければと思います。その上で、ふるさと塩竈を思っ活動する。それが必要だと思っています。

その意味では、昨年春に浦戸小中



▲コミュニティFM局内で浦戸小中学校の校歌を収録。児童生徒自慢の校歌全集が完成

学校の校歌を歌うことができたのはうれしかったです。

市長 小中一貫校としてスタートした記念すべき年に、校歌をCDに吹き込んでいただいで。今、浦戸の児童生徒たちは「うちの学校の校歌は山寺さんが歌ってくれている」と喜んでいています。

被災地を元気に

市長 震災発災後の4月には、当時市役所内にあった臨時災害放送局（FMラジオ）の仮設スタジオから被災者を激励していただきました。

山寺 そうですね。私もラジオ番組をやっていたので、震災のときほど、ラジオが大切なメディアと感じたことはなかったです。その年の8月には自分が担当していた千葉のラジオ局と塩竈の仮設スタジオをつなぎ、同時中継しました。放送できたときは感動しました。

市長 山寺さんには「GAMAROCK」にもお越しいただいて、勇気づけられた市民もたくさんいますよ。
山寺 私はこれまで1度しか参加できず申し訳なく思っているのですが、出演したときは、想像していた以上の盛り上がりというか、活気があって素晴らしいと感じました。

被災地支援で東北各地に行きますが、地域に密着した支援活動やイベント活動のお話を伺うと、私ももっと頑張らなくてはと思います。



▲市役所内の仮設スタジオから、被災地の現状、食の安全を関東方面にPR（平成23年8月）

復旧・復興、そしてこれから

市長 震災復興の話を見せていただく、東日本大震災からの復旧復興は10カ年計画で、前期5カ年が集中復興期間となり、平成27年度がちょうど一区切りでした。市民の皆さんにここまで復旧復興できました。と報告できるよう頑張ってきましたが、災害公営住宅は半分も完成していません。残念ながら課題を積み残してしまいました。

今年はその課題をクリアしながら、現在建設を進めている「塩竈市魚市場」や「塩竈市杉村惇美術館」のような新たな塩竈発の文化を数多く発信していきたいと考えています。

山寺 私は、市場の再開にしても、他の地域に比べたら元気なイメージがあります。宮城県や東北にも港町はたくさんありますが、塩竈がその中心になって頑張ってくれればいいなと思っています。



▲松島「湾」ダラランド キックオフイベント。
新たな観光連携がスタート

私は「みやぎ絆大使」にも委嘱されているのですが、以前知事から「松島を中心とした市町村の観光を考えている」というお話を伺ったことがあります。塩竈や多賀城、七ヶ浜などが一体となって観光分野に取り組みたいですね。私も何かお手伝いできたらと思います。
市長 今のお話ですが、東松島市を含む3市3町で、平成26年2月に「再発見！松島湾」ダラランド構想」を立ち上げました。松島湾が平成25年12月に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟したことをきっかけに、松島湾を取り巻く自治体が、一緒にこの地域の魅力を発信していくというものです。若い人たちが取り組んでいます。

山寺 塩竈市で「明日へ」という復旧・復興の記録誌が作成されましたが、私は、震災以降に出版された写真集をほぼ全て買い揃えました。大変な状況の中、今も被災地で頑張っている人たちがいることを感じ、自分を奮い立たせるために見るようにしています。
市長 ほかの地域で自然災害が発生したとき、私たちの反省材料を生かしていただきたい。私たちはそれを



震災を風化させない
そして教訓に

私自身は、震災後「自分は何ができて、何をすればいいんだ」と悩みました。もつと時間をかけ地元について、話を聞いて、活動しなければ力になれないのではないかと。でも仕事柄それまでできないと思ったとき、声優の仕事で充実させて、もつと力を付けることも大事なんじゃないかと思いました。
そうであれば、いろいろな場所で塩竈の魅力を発信できないと。今は、数多くの作品に出演して、自分の仕事を充実させることが第一かなと思っています。

山寺 今回の震災から学ばなければならぬことがたくさんありますね。
市長 山寺さんにとって、東日本大震災はどういう意味というか、どう受け止めましたか？
山寺 遅いと言われるかもしれませんが、ふるさとの大切さ、ふるさとで暮らす人々の大切さを改めて感じるようになりました。一番は友だちの大切さですね。
市民の力で地域を元気に



▲「酒蔵めぐり」。グラス片手に、市内の酒蔵で美味しい地酒をいただきます

発信し続ける責務があると思っています。行政だけでは限界があるので、山寺さんにも「こうだったんだよ」と多方面で発信していただきたいですね。
市長 地域の活動に関心を持って、参加するという意識を高めていくことが、地域社会の未来づくりに大きな役割を持つのかなと思っています。「酒蔵めぐり」という、市内の3つの酒蔵でオリジナルグラスを使って試飲できるイベントなどもあるの



思います。

市長 地域の活動に関心を持って、参加するという意識を高めていくことが、地域社会の未来づくりに大きな役割を持つのかなと思っています。「酒蔵めぐり」という、市内の3つの酒蔵でオリジナルグラスを使って試飲できるイベントなどもあるの

ですが、たくさんの人たちがまちの復旧・復興や、まちづくりに積極的に参加しようと思ってくださっている。

とてもありがたいことです。山寺さんもそのお一人ですが…。

山寺 お酒の話が出ましたが、昨年「みやぎびっきの会」の東日本大震災復興コンサートが新潟でありました。新潟も酒どころですが、100種類以上の地酒をおちよこで試飲できる場所がありまして。塩竈だけで同じことをするのは無理かもしれませんが、「ちよい飲み」できるって楽しいなと思って。「あの場所に行ったら塩竈のいろいろなものが楽しめる」そんな場所ができたらと思います。私もあちこち訪問して、自分なりに訪れたまちの感想や意見をお酒でも飲みながら話をするものいな、と思っています。

後輩たち そして市民の皆さんへ

市長 今日、第一中学校に来られて「当時と変わったなあ。ここからの眺めは変わらないなあ」と懐かしんでおられました。最後に第一中学校の後輩というか、塩竈市民にエールをお願いします。

山寺 塩竈には誇れるものがたくさんあります。おいしい食べ物にいいお酒。温かい人たち。「ふるさと塩竈」がもっと、元気なまちになつていくよう私も微力ながらお手伝いしたいと思っています。市民の皆さんには、自分のまちを誇りに思ってもらいたいです。

市長 山寺さんが頑張ってください。ことが、私たち市民の励みになります。



山寺宏一さん

宮城県塩竈市出身

1961年6月17日生まれ

塩竈市立第一中学校OB

「七色の声を持つ男」と呼ばれ、日本屈指の声優として数多くのヒットアニメ、映画などに出演。さらに俳優として舞台、映画、ドラマなどさまざまなジャンルで活躍中。

一般社団法人「みやぎびっきの会」理事、「みやぎ絆大使」、平成25年6月から「しおがま文化大使」



▲塩竈一中OBのお二人。中学時代の思い出がよみがえります

山寺 私はですね。私自身も塩竈を誇りに思いたいし、自慢したい。そして、そのことを全国に発信しているかと思っています。

市民の皆さんには、塩竈を「元氣」にしてもらつて、その「良さ」

を私に教えてください。

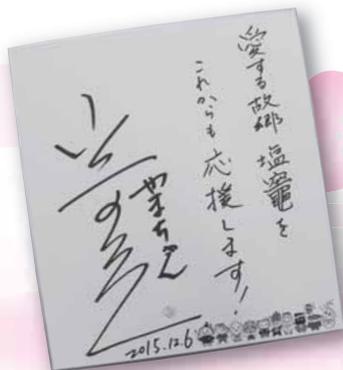
地元に住んでいる人たちが、自分のまちに誇りを持ってないで、外に住んでいる私が、昔住んでいたからと言って、「いいところなんですよ」なんて言えないですよ。

地元の人たちが、「山ちゃんがいところより、こんないいところがあるんだよ」と教えてほしいです。そうならば「よっしゃ。そうか」と、私も周りのみんなに伝えますし、私もますます塩竈を好きになります。そんな関係でいられたらいいなと思います。

そのためにも、声優としてタレントとして、これからも頑張らなければいけないと思っています。

市長 山寺さんが、平成28年も大きく飛躍されることをご祈念申し上げます。本日はありがとうございました。

山寺 ありがとうございます。



▲山寺さんからのメッセージ（色紙）は、市役所案内コーナーに掲示しています